

令和3年度 十勝農試定期作況報告 菜豆

月	作況	事由
6月20日	平年並	播種期は平年より2日早い5月26日であった。播種後に降雨があり、出芽は順調で、出芽期は平年より1~2日早かった。草丈および葉数はおおむね平年並である。 以上のことから、現在の作況は平年並である。
7月20日	やや不良	手亡類では、開花始は平年より1日早かった。7月上旬の寡照の影響で徒長気味であり、葉数はやや少ない。金時類では、6月下旬の高温により開花始は平年より4~7日早かった。干ばつ傾向により草丈が平年よりかなり低く、葉数は平年並~やや少ない。 以上のことから、現在の作況はやや不良である。
8月20日	不良	7月中~下旬の高温・乾燥による落花と着莢不良により、手亡類では着莢数が平年よりかなり少ない。金時類では草丈がかなり低く、着莢数は平年より少ない。 以上のことから、現在の作況は不良である。
9月20日	不良	手亡類では、8月下旬以降に着莢数が増加したが、9月以降の低温により登熟はかなり遅れており、9月20日現在成熟期に達していない。 金時類では、成熟期は平年並であった。着莢数、一莢内粒数ともやや少なく、百粒重は平年を大きく下回った。子実重は平年比39~54%となった。2.6分節下の割合は、小粒化の影響で「大正金時」では62.6%、「福勝」では46.9%と極めて高く、屑粒率は平年を大きく上回った。 以上のことから、現在の作況は不良である。
10月20日	手亡類:良 金時類:不良	手亡類では、成熟期は平年より26日遅い10月8日であった。登熟期間が長くなったため、着莢数および百粒重は平年を上回ったことから、子実重は平年比122%の多収となった。屑粒率は平年より高かった。 金時類は前記のとおりである。 以上のことから、現在の作況は手亡類で良、金時類で不良である。
11月20日	手亡類:良 金時類:不良	播種期は平年より2日早く、出芽期は平年より1~2日早かった。 手亡類では、開花始は平年より1日早かった。7月中~下旬の高温・干ばつによる着莢の遅れと9月以降の低温により、成熟期は平年より26日遅い10月8日であった。一莢内粒数は平年を下回ったが、着莢数は平年より多く、登熟期間が長くなったため百粒重は平年を上回った。この結果、子実重は平年比122%の多収となった。屑粒率は平年より高かったが、検査等級は平年を上回った。 金時類では、6月下旬の高温により開花始は平年より4~7日早かった。6月下旬~7月下旬の干ばつにより草丈は平年よりかなり低かった。成熟期は平年並であった。一莢内粒数、着莢数とも平年よりやや少なく、百粒重は平年を大きく下回り、子実重は平年比39~54%の低収となった。小粒化の影響により屑粒率は平年を大きく上回り、検査等級は平年を下回った。 以上のことから、本年の作況は手亡類で良、金時類で不良である。

生育データ

品種名 項目/年次	雪 手 亡			大 正 金 時			福 勝			
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	
播種期(月日)	5.26	5.28	△ 2	5.26	5.28	△ 2	5.26	5.28	△ 2	
出芽期(月日)	6.5	6.7	△ 2	6.7	6.8	△ 1	6.8	6.9	△ 1	
開花始(月日)	7.18	7.19	△ 1	7.6	7.13	△ 7	7.9	7.13	△ 4	
成熟期(月日)	10.8	9.12	26	8.29	8.29	0	9.3	9.3	0	
草丈 (cm)	6月20日	7.2	7.0	0.2	10.0	9.8	0.2	9.7	9.2	0.5
	7月20日	63.0	55.3	7.7	30.3	45.4	△15.1	37.3	45.5	△ 8.2
	8月20日	71.0	70.6	0.4	25.7	48.1	△22.4	33.3	51.8	△18.5
	9月20日	71.0	—	—	—	—	—	—	—	—
	成熟期	72.0	66.3	5.7	25.7	47.4	△21.7	32.7	51.0	△18.3
葉数 (枚)	6月20日	0.6	0.8	△ 0.2	0.5	0.7	△ 0.2	0.6	0.8	△ 0.2
	7月20日	5.8	6.7	△ 0.9	3.3	3.9	△ 0.6	3.8	4.0	△ 0.2
	8月20日	7.4	7.6	△ 0.2	3.3	3.9	△ 0.6	3.7	4.1	△ 0.4
	9月20日	7.2	—	—	—	—	—	—	—	—
主莖節数(節)	成熟期	10.1	8.9	1.2	5.2	5.8	△ 0.6	5.8	5.9	△ 0.1
分枝数 (本/株)	7月20日	5.9	7.0	△ 1.1	6.8	6.9	△ 0.1	6.8	6.0	0.8
	8月20日	9.1	8.3	0.8	6.1	6.3	△ 0.2	6.3	6.2	0.1
	9月20日	9.3	—	—	—	—	—	—	—	—
	成熟期	10.1	7.4	2.7	7.0	5.9	1.1	6.9	5.6	1.3
着莢数 (莢/株)	8月20日	21.2	32.3	△11.1	15.7	17.8	△ 2.1	13.8	17.6	△ 3.8
	9月20日	31.9	—	—	—	—	—	—	—	—
	成熟期	36.9	29.1	7.8	15.6	17.4	△ 1.8	11.7	16.2	△ 4.5
一莢内粒数(粒)	3.22	4.24	△1.02	2.41	2.70	△0.29	2.43	2.53	△0.10	
総重(kg/10a)	742	658	84	402	458	△ 56	601	511	90	
子実重(kg/10a)	421	346	75	122	227	△105	101	259	△158	
百粒重(g)	38.4	34.6	3.8	45.9	61.6	△15.7	49.9	78.0	△28.1	
屑粒率(%)	7.1	4.2	2.9	83.9	13.4	70.5	62.3	8.8	53.5	
品質(検査等級)	1	2上		等外	2中		3上	2中		
子実重対平年比(%)	122	100	22	54	100	△ 46	39	100	△ 61	

- 備考 1) 平年値は、前7か年中、平成26年(豊作年)及び28年(凶作年)を除く5年平均である。
ただし、9月20日の各調査項目の平年値は、年次により成熟期後となるため算出していない。
2) △は平年と比較して「早」、「少」、「短」、「軽」、「低」を表す。
3) 屑粒は、病害粒、変色粒(色流れ)、未熟粒等を含む。
4) 子実重、百粒重は水分含量15%に換算した値。
5) 品質(検査等級)は、農産物検査規格に準ずるものである。

耕種概要

一区面積 (㎡)	区制	前作物	畦幅 (cm)	株間 (cm)	1株 本数	株数 (株/10a)	播種日 (月日)
12	3	アカクローバ	60	20	2	8,333	5.26
施肥量(kg/10a)							
N	P ₂ O ₅	K ₂ O	MgO	堆肥	その他		
4	20	11.2	4	なし	なし		